

日本広告学会  
第52回全国大会ご案内  
[研究報告申し込みのご案内]

大会統一論題  
G A F A時代の広告

日本広告学会第52回全国大会

主催校 関西大学

2021年11月19日(金)～11月21日(日)

大会運営委員長 関西大学 水野 由多加  
大会運営委員会事務局 関西大学 社会学部 水野 由多加 研究室 内  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

ご挨拶

2021 年秋に日本広告学会第 52 回全国大会を、関西大学を主催校として開催することになりました。この難しい時期のタイミングでの主催には特別の意義もあると存じ、まことに光栄に思います。

本年は、統一論題を「G A F A時代の広告」としました。さまざまな立場、視点から会員の皆さまの間で議論が盛り上がる大会になるように最善を尽くす所存です。

新型コロナウイルスの今後の影響について、現段階では、開催形式がオンラインかオフラインか、予断を許さない状況ですので、ご参加される皆さまの安全面への配慮についても怠りなく準備を進めたいと思います。

2021 年5 月31 日

日本広告学会第52 回全国大会大会運営委員長

水野 由多加 (関西大学 社会学部)

## 1. 大会統一論題 (大会テーマ)

### **G A F A時代の広告**

本大会は、21世紀初頭のデジタル広告の新秩序を世界規模で形成したG A F A (Google、Apple、Facebook、Amazon の4 社)と呼ばれるいわゆるプラットフォーム企業が果たしている役割と将来像の解明にアプローチする。

広告収入を主眼とするビジネスモデルであるGoogle の売上高は(親会社Alphabet 社の売上)10 兆円を超え、Facebook 社も8 兆円前後と、両社とも単独で電通推計の「日本の広告費」を凌駕する(広告実務でプラットフォームと呼ばれる)広告企業である。Apple 社はいまや広告露出にとって不可欠なスマートデバイス(iPhone他)を提供する企業であり、株価の時価総額は200 兆円を超え世界一である。Amazon 社はネット通販企業でありあらゆる流通業の存続に関わる「アマゾン効果」を与えるが、その店舗とは購買履歴等に基づくレコメンデーションやランキング、各種のセールに代表されるように「広告・販促空間」そのものであり、消費財メーカーには大量のアローワンス広告の出稿が求められている。各社はそれぞれに個人情報についてそのビジネスの根幹であるビッグデータのAI 処理を行い、ターゲティング広告の適法性・倫理性が世界的に問われるサービスを行っている。

このようなG A F A等のプラットフォームについてはいずれもいまだ十分には広告研究の知見の一部とはなっていない。AIとデータで成り立つ不可視性に加え、日本の企業ではないことも従来の広告業界をはるかに超える理解困難性を持つ。したがって、21 世紀20 年を経たこのタイミングで本大会の統一テーマとし、手付かずにしてきわめて重要な広告研究の新たな枠組みの探索に寄与する意義があると考え。

## 2. 日程（予定）

2021年11月19日（金）～11月21日（日）

- ・19日（金） 午後：各種委員会、理事会兼常任理事会
- ・20日（土） 基調講演、統一論題報告、会員総会、オフラインの場合は懇親会
- ・21日（日） プロジェクト研究報告、自由論題報告

## 3. 会場

開催形式がオンラインかオフラインか、予断を許さない状況です。もちろん開催形式は、オリンピック東京大会の開催などのビッグイベントの状況、国、文部科学省、大阪府等の判断などを踏まえて行いますが、現時点でもなお大阪府は3回目の緊急宣言事態下にあり今しばらく様子を見るべきタイミングかと存じます。

したがって6月末をめどに開催形式が決まり次第、学会公式サイトおよび第2号通信にてこのことご報告の予定です。

オフラインの場合は、阪急電鉄千里線「関大前」駅下車、すぐ（正門までは徒歩約5分）の関西大学千里山キャンパス（駅より最も近い第三学舎を使用予定）にて開催予定です。

## 4. 研究報告のお申込について

本大会の「研究報告」ではふるって統一論題であるG A F A関連のご報告をお待ちします。広告学会でG A F Aをテーマとすることは初のことですから、たいへん注目を浴びかつ名誉な報告機会であると思われます。自由論題報告は、広告理論および実務のさまざまな分野から自由なテーマでの研究報告です。なお、研究報告の要領は以下のとおりです。

- (1) 報告者の資格：本年度までの年会費を6月25日（金）までに納入済みの、日本広告学会正会員及び名誉会員。
- (2) 報告件数：一人1件。なお、共同研究で第一著者でない場合は、複数件の報告を妨げません。共同研究の場合、第一著者は必ず当日、報告して下さい。第二著者以降の報告は任意です。
- (3) 報告予定数：18件程度。報告時間は30分（報告20分、質疑応答10分）とします。なお、報告件数については研究報告の応募状況により変更されます。
- (4) 報告申し込み方法：
  - ・「研究報告申込書」（学会ホームページからダウンロードしたもの）にご記入の上、大会運営委員会事務局宛にメールでお申し込みください。郵送およびFAXでのお申し込みはできません。
  - ・**申込期限：2021年7月30日（金）23時59分。**
  - ・その後、『大会報告要旨集』原稿（A4用紙4ページ程度）を、9月上旬までにご提出いただきます（締め切りは追って告知します）。その作成要領は、8月中旬を目処に学会ホームページでダウンロードできるようにする予定です。

- (5) 報告者の決定：大会運営委員会が研究報告要旨の内容を検討し、決定いたします。結果は、応募された会員宛に、10月中旬までにご通知いたします。

## 5. 今後の予定

### 第2号通信

- ・大会プログラム、開催方式の決定
- ・2021年7月初旬発行予定

### 第3号通信

- ・大会プログラム、開催方式のご案内、大会参加申込手続き、大会参加費、懇親会費のご案内
- ・2021年10月初旬発行予定

## 6. 日本広告学会第52回全国大会運営委員会大会運営委員

- ・委員長 水野 由多加（関西大学）
- ・委員（50音順）：伊吹 勇亮（京都産業大学、副委員長）、楠本 和哉（電通）、後藤 こず恵（流通科学大学）、竇 雪（Xue DOU、立命館大学）、難波 功士（関西学院大学）、山崎 方義（愛知産業大学）

## 事務局

大会運営委員会事務局：関西大学 社会学部 水野 由多加 研究室 内  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35  
電話：06-6368-1480（研究室直通）  
E-mail：(jaa52ndnation1-bounces@cm.kansai-u.ac.jp)

大会に関するお問い合わせは大会運営委員会事務局宛にお願いします。

研究室を不在にすることが多いため、基本のご連絡はメールでお願いします。

以上